

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：

北海道札幌市立北辰中学校

活動名：チームで行う教育課程編成 ～カリマネを生かした学校づくり～

解決すべき課題：

本校は歴史と伝統ある校風で、保護者や地域に支えられながら、落ち着いた学習環境である。しかし、時代が急速に変化する中、予測困難な未来に生きる子どもたちに必要な資質・能力を育むためには、不易の部分を大切にしながらも、学校が主体的に変化し、新しい価値を創造していかなければならない。

目標・方針：

- ・教職員の参画意識向上を目的とした、組織、体制作りの推進および校内研修の内容、形態の工夫。
- ・現状把握から、学校課題と子どもたちに育成したい資質・能力を明確化し、PDCA サイクルを実践。
- ・学校教育の質の向上のため、価値を見いだす（時間を費やす、重視する）活動の精選および具体化。

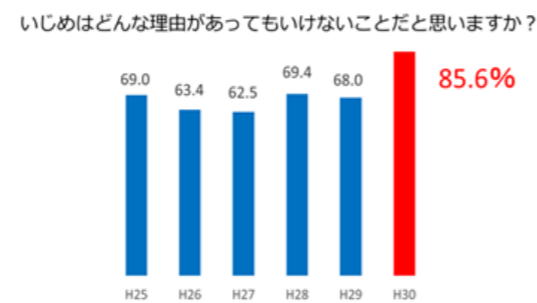
活動内容：

- ・教育課程検討特別委員会をカリキュラム・マネジメント推進の中核組織とし、年間を通して機能させた。
- ・教育課程を校務・学年・教科等で検証し、成果と課題を明確化した。
- ・年齢、役割、学年、教科等が異なるグループ編成のワークショップ型、模擬授業体験型および、現状把握、目指す生徒像、学校課題の共通理解を目的とした問題提起型の校内研修会を実施した。
- ・「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、日常の教育活動や資質・能力（北辰らしさ）を発信した。
- ・限られた時間の中で、教育の質を高める、働き方改革の視点も意識した。

活動の成果：

- ・前例主義、相互不干渉の傾向にあった教職員の意識改革が進み、それぞれの立場、役割でカリキュラム・マネジメントを推進することにより、学校や子どもの変容を実感できた。
- ・カリキュラム・マネジメントの実践が、授業改善や働き方改革といった学校教育の質の向上につながった。
- ・教職員の意識向上と共通の具体策の実践効果が随所に見られた。

例 1 学校評価アンケート「わからない」の保護者回答 例 2 全国学力状況調査「いじめに関する設問」回答



アピールポイント（アイデアや工夫）：

- ・教育課程検討特別委員会をカリキュラム・マネジメント推進の中核組織とし、年間を通して機能させた。
- ・「目指す生徒像」「資質・能力」の共通理解を通し、教職員の目標と方法のベクトルの一致を図った。
- ・教職員が校内研修に楽しみながら参加し、自らも主体的、対話的で深い学びを体験できた。
- ・現状の教育活動からの見直しを行い、多くの縮小・廃止、新設、存続の事案を積み上げた。

●学校教育目標、目指す生徒像の共通理解

教育課程の理念と方針

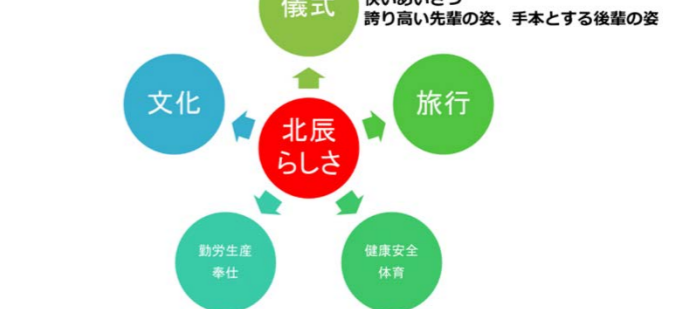


「調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」

「北辰らしさ」を受け継ぎ、引き継ぐ生徒の育成

●各行事で育成したい資質・能力を明確化（北辰らしさ）

資質・能力



●教育課程検討特別委員会を

カリキュラム・マネジメント推進の中核組織に！

教育課程検討委員会の開催スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
従来							①		②			
改善	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧				

1年間継続



集約
議論
実践
評価

●カリキュラム・マネジメントの最終目標

～子ども一人ひとりのカリキュラム・マネジメント～



子ども一人ひとり



中核組織
集約
推進



現在の教育活動の見直し



縮小・統合	新設	存続
<ul style="list-style-type: none"> ●修学旅行 ●学校祭 ●造形の日 ●生徒総会 ●新入生歓迎会 ●学年・学級PTA ●登下校指導 ●ボランティアの日 ●胸花を購入 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育相談日 ●食育学活 ●防災教育学活 	<ul style="list-style-type: none"> ●陸上競技記録会 ●合唱コンクール ●PK合戦 ●フリースロー合戦

全校で応援する学級対抗フリースロー合戦

縮小・廃止	新設	存続
<ul style="list-style-type: none"> ●通知表所見 ●行動評定 ●総合的な学習の時間 ●昼清掃日 ●給食回数 ●ペーパーレス ●始業式テスト ●一斉課題回収 	<ul style="list-style-type: none"> ●帰国・外国人生徒支援 ●会議日 5 時間 ●生徒指導研修会 ●成績処理ソフト ●道徳ローテーション ●携行品ボックス ●保護者メール ●ホームページ ●通級生徒報告 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員会議回数

外国籍生徒 18 名